



第 48 号

《発行》
 函館大妻高等学校
 同窓会
 「いとぐるま」編集部
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電話 (0138) 52-1890
 FAX (0138) 52-1892
 印刷 (有)三和印刷



同窓会会長
 平田 優子
 S55年卒業(旧姓若山)

春の暖かさや冬の寒さが交互に訪れる中、同窓生の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

母校では、「創立百周年記念事業」そして一昨年十月五日の「創立百周年記念式典・祝賀会」を無事に終えられ、昨年三月末をもって池田延己校長先生が校長職をご勇退されました。四月からは理事長職に専念され、日々母校のために手腕を発揮されています。同窓会相談役、また、校長先生になられてからは名誉会長として同窓会本部・支部のことを大切に考えていただきご尽力くださった池田先生には心より感謝申し上げますと共に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。後任には前教頭、同窓会相談役の齊藤賢一先生が教頭長、同窓会名誉会長に、相談役には森雪恵新校長先生がご就任されました。相二方には新たな時代、次の百年に向かって母校のさらなる発展のためにご活躍されますことを祈念しております。今後とも同窓会活動にお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、昨年七月六日、五年ぶりに「同窓会総会・親睦会」を開催することができました。会場を「KKRはこたて」に、時間もお昼十二時に変更して初めての開催でしたので出席人数も予想がつかず、役員一同ハラハラしながら当日に向けて準備

をしておりました。お昼の開催というところで母校教職員の方には校務の都合もあり多くの出席はかたがたご就任のご挨拶をいただき和やかに親睦会が始まりました。食べきれないほどの料理が並びテーブルを囲み、楽しんでいただく談笑される皆さまの姿は、まるで十八歳の乙女に戻ったように元気でほつとさわれていて、開催できて良かったとホッとされたことを覚えております。また、その中で長年同窓会役員として活動して下さった釣谷さんと山内さんに感謝と労いの気持ちを込めて花束と記念品をお渡ししました。

母校愛あふれるお話やすばらしい日本舞踊と会が進む中、公務で出席が危ぶまれていた池田理事長先生が駆けつけてくださいました。万雷の拍手で迎えられた理事長先生から温かいご挨拶をいただいた後、同窓会より理事長先生にもこれまで感謝と労いの気持ちを込めて花束と記念品をお渡ししました。ビンゴゲーム、じゃんけん大会、抽選会で得たたくさんのお品を抱え、笑顔と歓声のうちにお開きの時を迎えました。また来年の再会を約束して帰路につかれた皆さま、ご出席本当ありがとうございます。今年も七月五日(土)お昼十二時に「KKRはこたて」でお会いできるのを楽しみにしております。どうぞお誘い合わせの上是非ご出席ください。母校も新たな布陣で少子化の荒波へと漕ぎ出しました。同窓会も退任されたお一人の後任として、H四年卒業の丸山百里さんと、H七年卒業の庄司あけ美さんを会計監査としてお迎えいたしました。四十代と五十代という現役世代の若いお二人にこれからの同窓会の在り方など、忌憚のない意見をどんどん出していただき、より活発な同窓会活動に繋げていけるよう役員一同心を一つにして臨む所存です。同窓生の皆さま、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



『同窓会の皆様へ』

学 校 長 齊 藤 賢 一
同窓会名誉会長

函館大妻高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より皆様には多方面にわたり、多大なるお心遣いを頂戴しており、ありがたく存じます。本校は昨年度、創立百年という大きな節目を迎え、新たな歴史の一步を踏み出しました。そして今年度、この記念すべき創立百一年目に、私は校長として就任いたしました。長い伝統と光輝あふれる本校の舵取りを担うこととなり、その責任の重さを感じるとともに、新たな挑戦に向けて気持ちを引き締めおとすところです。さて、本校はこれまで、実業高校として手に職をつけさせ、多くの優れた卒業生を輩出し、時代の地域社会に大きく貢献してまいりました。その礎を築いてこられた卒業生である諸先輩、また、学園を支えて下さった皆様には、心より感謝申し上げます。

現在、社会は大きな変化の時代を迎えております。AIやグローバル化の進展により、教育のあり方も、より細かく、より専門的に問われる中、本校では創立以来「手の文化」という伝統を大切にしながら、新しい時代にも適応していける力を育むことを目指してまいりました。生徒一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、協調性を持って社会で活躍できる人材へと成長できるよう、これからも一つひとつ丁寧に、時間をかけて教職員一同、全力を尽くしてまいります。

同窓会の皆様におかれましては引き続き、母校へのご支援、ご指導をたまわりますよう、心よりお願い申し上げます。また、私自身まだまだ勉強の身であり、学園の歴史についてさらに学んでいかななくてはなりません。皆様の学生時代の貴重なエピソードをあらゆる機会を通じてお伺いしたいという気持ちで溢れております。

最後になりますが、皆様の継続的で温かい励ましが、学園、そして在校生の未来を拓く大きな力となると考えております。

これからも変わらぬご指導ご鞭撻頂きますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

自己紹介

昭和四十四年生まれ。秋田県森吉町（現北秋田市）出身。妻と息子二人。道教育大院修了。教科：国語・書道。趣味：書道の書籍収集。好物：おはぎ類。苦手：校長挨拶、SNS、女性。学園に纏わるお話、高校時代の思い出等、何でも結構ですので、ぜひお聞かせください。同窓会等でお元気な皆様にお会いできますことを、心より楽しみにしております。



思い出すこと、そして感謝と

理事長 池 田 延 己

昭和四十五年十月採用。ハツ校長と神田先生の創立者お二方と同じ職場で同じ空気を吸い、たくさんの薫陶を受けてられたことは今でも誇り。職員の中ではもう私一人。当時全校生徒は千人を越え、三人掛けの機で一クラス六十人越え。生徒指導部長の時に戦ったロングスカートとミニスカート全盛時代。同好会から発足したバスケットボール部も頭角を現し、全道大会ベスト四に入るなど、一気に開花したことも思い出。

教頭五年目。慣れてきた平成二十一年八月、三代目茂樹校長急逝。六十歳。急性呼吸不全。遺言で突然校長採用の辞令。九月十八日の学園葬準備に邁進。その矢先の十六日、二代目正校長が九十四歳で逝去。瞬間、どうするかで頭が一杯。今でもありありと思い出す。

校長としての仕事始めは葬祭だったが、意志の継承、向後の成り立ち、先生方の生活を守る、の三点死守をハツ校長に誓う。中卒者減少の中、基軸の家政科立て直しに着手。平成二十五年四月家政科にファッション造形と子ども文化のコース制導入。

理事長と校長兼務は平成二十九年五月。大仕事は令和五年十月の百周年記念式典。ハツ校長の百年と、現代に併せ発展させ、新たな百年に向けての区切りをすることを決意。新制服と新校歌の採用。家政科に「美容」を取り入れたのもその一環。生き残りをかけてこれからも改革は続く。

令和六年三月校長退職。理事長として、「良妻賢母」と「恥を知れ」、そして大妻伝統の「手の文化」を守りながら、現状に満足することなく常に進化を求めて歩み続け、ロマンとソロバンの両立を目指して、二百年後の大妻の礎を築くことが目標。

私と同窓生の願いはただ一つ。青春時代を過ごした「大妻の未来永劫の存続」。これまで私を支えてくれた同窓生の皆さまに感謝。各支部同窓会出席が本当に楽しみ。これからは死ぬまで出席。ここまで頑張れたのも同窓生のお陰。これからは大妻を愛し、見守り続け、力を貸してください。ありがとうございました。

新役員紹介

役員欠員にともない、同窓会総会で承認されました。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



会計監査丸山 百里
H4年卒業
(旧姓塚原)

この度、同窓会役員のお手伝いをさせて頂いていただくことになりました。不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、役員の皆様のご指導をいただきながら大妻高等学校の歴史をつなぐ役割として、少しでもお役に立てるように努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



会計監査庄司あけ美
H7年卒業
(旧姓七尾)

三十年前に、バスケ部で一生分走りましたので、今は全く走れず、レバンガ北海道を応援することに夢中でございます。そんな私がこの度、同窓会役員を務めさせて頂くことになりました。微力ながら頑張りますのでよろしくお願い致します。

退任された役員

長い間お疲れ様でした。そして、今後共よろしく願っています。



釣谷 千鶴子
S32年卒業

創立百周年記念式典に出席が出来る、思い出深い一日になりました。大妻祭で、いなりずし、ペコ餅、五目ご飯などを作り販売したこと、同窓会親睦会にて皆様の前で自分の体を使って運動指導することもあり、どれも良い思い出になっております。母校の益々のご発展をお祈りいたします。



山内 セイ子
S32年卒業

卒業後母校勤務から公立高校へ転出し道内をまわり退職後ようやく同窓会に出席できるようになりました。卒業から六十年近くを経て思いがけず役員に加えさせて頂いた、これも母校との深いご縁と思っております。学校祭などの諸行事では人生の大先輩から在校生の皆さんとの出会い触れ合いがあり楽しく過ごさせて頂いた、これも元気をもらい現在があると思っております。同窓生同士は身構える必要もなく自然体でいられ初対面でもすぐ打ち解けて親しみなれる信頼と安心感をもたらすものと確信し、母校の偉大さ有難さを痛感し出会いに感謝しております。短い間でしたが大変お世話になりました。母校の益々のご発展と強い絆で結ばれている卒業生の皆様のご多幸そして同窓会が未永く続きますよう切に願っております。

手作りにとだわらない

その名も「新しい会」発足

同窓生が集まって好きな物を作ったり、おしゃべりをして楽しい時間を過ごそうという会です。

「新しい会」の最初の挑戦は、クラフトテープで作るかごに決まりました。同窓生でかごをよく作っている人が先生になり皆で教わることになりましたが、その場では編み方がわかるものの、家に帰るとすっかり忘れてしまい、次の月は先月の続きをするのでなかなか進まないのも笑いとなり(あるある)、のんびりと完成に近づいております。

もちろん、別の物を作ったり、情報交換(のみ)に忙しい方など、各々に親睦を深めておりますので、同窓生の皆さん、お気軽にご参加ください!!



- ・毎月第3月曜日 13時～15時
- (学校休校日は中止・変更あり)
- ・母校大妻会館
- 担当 大田 090-69991-9431

支部便り

札幌支部



新札幌支部長
福森 静子
S56年卒業(旧姓 奥)

この度、新札幌支部長となりました福森静子と申します。昭和五十六年卒業、前池田校長の教え子です。前支部長岩崎さんが二十数年あまり続けて来られた功績を引き継ぐのはとても重責でしたが、母校のため、札幌の同窓生の皆様のためにも頑張つていきたいと思っております。

在学中は故外山正校長先生に大変お世話になり、恩返しできる機会を得る事ができました。現在札幌支部は、名簿上三十四名の同窓生に支えていただいておりますが、五年間のコロナ禍の活動休止により会員の皆様の状況も高齢や親の介護等、変化しており、総会に参加できない方も増えているようです。今年は十月に総会開催予定で、懇親会も兼ねておりますので一人でも多くの同窓生の皆様が参加して楽しんで下さることを願っております。

支部総会のご案内

●東京支部

日時 令和7年6月14日(土) 12時～
場所 新宿プリンスホテル(東京都新宿区歌舞伎町1-30-1)
会費 10,000円
連絡先 松永真由美(S56年卒業) TEL 090-3510-4034

●札幌支部

日時 令和7年10月4日(土) 11時30分～
場所 札幌サンプラザホテル
会費 6,500円
連絡先 福森 静子(S56年卒業) TEL 011-616-6310

全く新しい役員ばかりで至らない事ばかりですが、齊藤校長先生始め、同窓会会長平田様、役員の皆様、東京支部、日高支部の役員の皆様に毎回教えていただき、札幌支部を盛り立てて行く所存でございます。

この場をお借りして同窓生の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

東京支部



新東京支部長
松永 真由美
S56年卒業(旧姓 平金)

昨年、令和六年七月二十日函館大妻高等学校同窓会東京支部総会において、前杉本幸子氏から東京支部長を承継いたしました。昭和五十六年卒業生の松永真由美と申します。

昭和六十二年東京支部が発足したとお伺いしております。令和七年の総会は四十回目となります。途中新型コロナウイルスの影響を受け、実施できなかった時期もございますが、「継続は力なり」と言う、前東京支部長杉本幸子氏の熱意溢れる信念を継承し続けようと決意しております。

人生の中の三年間、函館大妻高等学校で学び、青春のページを刻み、通学していた頃には想像もしていなかった現在の母校への思い、何がそうさせているのかはわかりませんが、函館大妻高等学校での思い出や校歌を思い出すと胸が熱くなるのを感じます。色々な選択肢があった中、函館大妻高等

学校を選び、その選択を支えてくれた両親にも感謝し、充実した高校生活だったのだと、母校に対し改めて感謝しております。
齊藤賢一校長先生のご支援を受け、東京支部は同窓会員を少しでも増やし、函館大妻高等学校卒業生の縁、交流の輪を広げることができればと思います。
至らぬ点があるとは思いますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。



第35回函館大妻高等学校同窓会東京支部総会
令和6年7月20日 於 京王プラザホテル

同窓生を訪ねて



母校での学びを土台にさらに技術を習得し、手仕事を通して社会に貢献されている東京支部の園田テル子さんの活動をご紹介します。

華やかな作品が癒しに

割烹店で着物リフォーム展示販売

八街市

八街市のグループ「リフォームつむぎ」(園田テル子代表)が11月25日と26日にJR八街駅前の割烹やまもとでチャリティー販売を開催。着物や帯をリフォームした華やかな作品が「コロナ禍の中で癒される」と次々に売れ、収益の7万2250円が八街市社会福祉協議会に寄付された。

グループは市民から寄贈された着物や帯を60代、70代の17人が洋服やバッグ、アクセサリなどにリメイクして福祉まつりなどで販売し、収益を寄付してきた。今年にはコロナ禍で社協のイベントは全て中止になっ



感染対策に入れ替え制で実施



一点ものの素敵なりメイク服

やチャリシを見て来場した人などで連日賑わい、園田代表は「初めての方も多く、活動16年になりますが、まだまだ知られていないと感じました。山本さんのご協力が大変有難い」と語り、同店の山本さんは「世のため、に活動されている姿に頭が下がります。着物を寄贈してくれた方々にも感謝。着物を着る機会が少ないことも痛感しました。6月は華道展を開くので着物で出掛けて明るい気分になってもらえたら」と話していた。

▶2020年新聞掲載記事

リフォームつむぎ

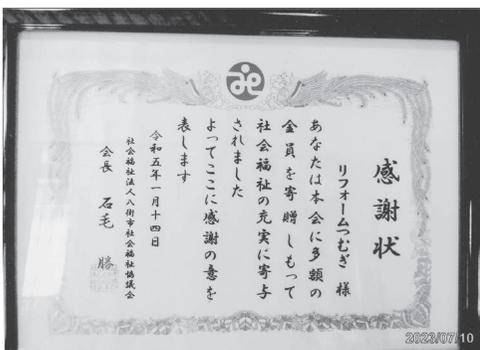
代表 園田 テル子

S45年卒業(旧姓池田)

長い間市民の方々からのご理解とご協力があったからこそこの活動です。本当に感謝の一言につきまます。

入れ替わりながら今はスタッフが少ない平均年齢七十四歳、その勢いは以前程ではないにしろ、手仕事が好きだから続けてこられたのでしょう。そして見返りを求めないボランティア精神溢れる仲間達の気持ちは今も変わりありません。

小さな積み重ねがあつて今があります。本当に尊敬に値するスタッフだと思つてますし、無駄にしない生かすという意味でも社会的活動だとも自負しています。



- ・総寄付額 2,413,000円
- ・自然災害義援金 50,000円
- ・社会福祉協議会より感謝状拝受 (4回)

会報「いとぐるま」の郵送には、皆様からの年会費が必要です

これまで同窓生の皆様には、多大なご協力をいただいてまいりましたが、令和6年7月の同窓会総会にて決議された通り、令和6年度より、以下の方のみに「いとぐるま」を郵送しております。

- ・年会費、寄付金を送金してくださった方
- ・総会・親睦会に出席してくださった方
- ・同窓会にご協力くださった方
- ・新入会員で母校卒業後7年以内の方

「函館大妻高等学校」のホームページの一番下の「いとぐるま」(バナー)をクリックすると本年度だけではなく、歴代のいとぐるまも閲覧できますので、是非ご覧ください。

今後ともご支援ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hakodate-otsuma.ed.jp>

令和6年度 同窓会総会・親睦会

令和6年7月6日(土) 於 KKRはこだて

5年ぶりに同窓会総会、親睦会を開催することができました。
初めての日中開催でしたので、お酒はひかえめでしたが、おいしいお料理と
楽しい会話に花が咲き、あつという間のひとときでした。



総会風景



東京・日高・札幌各支部長



これも美味しいね



森教頭先生

お話し、聞いて
下さいね



久しぶり、元気にしてた？



ハイ、チーズ!!



イエーイ!!



理事長先生に花束贈呈



私達、池田ガールズです!



みんな、入って、入ってー



素敵なお姉様方とパチリ



艶やかに



お耳でスッキリしますよ



こんにちはー



華やかに

トピックス

家政科

し、三年生が二年前に踊ったダンスを習って踊りました。子ども文化コースは二年生が「お野菜の鬼」、三年生が原作をもとにした「ちんげんさいせんせいのお誕生日」を台本等、一から考えて臨みました。ファッション造形コースは衣装デザイン、型紙製作、生地選び等、四月から協力して創ってきたドレスを披露しました。大道具や照明、ナレーション等、裏方も生徒が頑張りました。家政科全生徒が一つのチームになり無事終了することができました。一つひとつが経験として次に生かされると思います。



家政科全員、ワンチームで魅せました



令和六年十一月十六日(土)、第十二回家政科学習報告会を行いました。一年生は家庭科技術検定体験をわかりやすく発表

福祉科



三年生のための合格応援。せーので目指せ合格100%

今年も引き続き、新型コロナウイルス等感染症の影響を受け、実習日程等変更せざるをえない部分が出ました。それにもかかわらず年度内で実習を無事完了できたのは、まず、実習先変更等の申し出に対する施設様のご厚意、加えて生徒たちの手洗いやマスク等の意識的・自覚的な感染対策が大きかったです。日々、互いの体調を気遣い声をかけを合う生徒たちの様子に、福祉教育の根本「思いやりの心」の成長を感じました。

実習でお世話になった施設の職員さんに今年度も「実習体験報告会」へお運びいただき、ご意見やアドバイスをたまわりました。この報告会は生徒が他学年の報告対見聞することによって、下級学年にとっては今後の参考、上級学年にとっては振り返りと将来の糧となります。次年度に向け、生徒たちは心の準備ができたようです。

食物健康科



その一皿に気持ちを込めて

令和七年二月八日(土)、三年生が、保護者の皆様へ感謝の気持ちを込めて日本料理を振る舞いました。

試作段階では、直面した課題に対して技術面・精神面ともに「私がやらなくても誰かがやるだろう」という他責思考を持つてしまいう時期がありました。気持ちの入らない料理、でき栄えに満足できない日々の中で、変わらず有り続けたのは、「最後に目指すものは感謝の気持ちをその一皿に乗せるのだ」という妥協のない姿勢でした。

一人ひとりが自分の課題を乗り越えて迎えた本番では、その心が保護者の皆様に伝わり、生徒にとって達成感に満ち溢れた一日となりました。

普通科



グループワーク。高く積み上げるために

三年生全員の進路を決定させることができたのは、資格取得に向けた取り組みや一人ひとりの学習状況に合わせたコース制の授業という、これまで培ってきた努力が実を結んだものです。加えて、新カリキュラム三年目で大きな成果をあげられたのは生徒の頑張りによると感じています。



進学イベントで意識向上

普通科では、「総合的な探求の時間」でキャリア教育を実施しています。進路決定に向け、二年生では大学や短大・専門学校への訪問、函館アリーナで開催の進学イベントへの参加により、卒業後の自分を明確に想像するきっかけを作りしました。三年生は、様々なグループワークを通してコミュニケーションスキルを学び、加えて、社会に出た時に即時必要となる教養ビジネスマナーや電話対応、スーツの着こなしのための講座等を受講しました。

ご案内

令和7年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日時 令和7年7月5日(第1土曜日)
 親睦会 12:00 親睦会 13:00
 会場 KKRはこだて ☎0138-57-8484
 (函館市湯川町2-8-14)
 会費 7,000円(温泉にご入浴もできます)
 申込 令和7年6月20日までに同封の振込用紙でお申込ください。

※駐車場台数(30台)に限りがありますので、なるべく乗り合わせてご来場下さい。

※ご不明な点がございましたら、同窓会役員(副会長 広沢090-8632-0977)までお問い合わせ下さい。

※6月28日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

申し込み連絡先

◎同窓会事務局
 笹森 美絵(教諭)

〒040-0002

函館市柳町14番23号

電話(0138)52-1890

FAX(0138)52-1892

大妻高校内

当番幹事 同窓会役員

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送や各支部助成金等に充てられます。本年度も多くの方々のご協力・ご送金をよろしくお願いいたします。

年会費集計状況

皆様のご協力ありがとうございます

令和6年度
127,000円
 (令和6年12月31日現在)

令和5年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書

(令和5年4月～令和6年3月)

【収入の部】

項目	予算額	決算額	増△減
1 維持費	782,400	758,800	△ 23,600
2 入会金	88,000	85,000	△ 3,000
3 年会費	150,000	133,000	△ 17,000
4 福利厚生事業収益金	20,000	0	△ 20,000
5 預金利息	5	4	△ 1
6 雑収入	0	0	0
7 前年度繰越金	341,607	341,607	0
合計	1,382,012	1,318,411	△ 63,601

【支出の部】

項目	予算額	決算額	増△減
1 総会費	0	0	0
2 会議費	5,000	5,369	369
3 事務費	50,000	26,566	△ 23,434
4 会報発刊	240,000	256,666	16,666
5 活動費	50,000	37,000	△ 13,000
6 慶弔費	80,000	43,320	△ 36,680
7 出張費	0	0	0
8 支部助成金	100,000	100,000	0
9 記念品	100,000	83,645	△ 16,355
10 積立金	500,000	100,000	△ 400,000
11 予備費	257,012	336,347	79,335
12 次年度繰越金	0	329,498	329,498
合計	1,382,012	1,318,411	△ 63,601

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

☆令和7年卒業同窓会幹事☆

幹事 常任幹事

家政科 千田 美華
 家政科 糸谷 理緒
 福祉科 下里 楓華
 食物健康科 佐々木 希和
 普通科 関 愛理

●編集委員

平田 優子
 廣沢 律子
 大田 幸美
 川原 ヒサ
 三井 幸子
 影 朋希

●編集後記

長らく一緒に活動して参りました山内さんと釣谷さんが役員を退任されました。二人共(大)先輩でありながら、

感謝をこめて



本年度、年会費や寄付金を送金してくださった同窓生の皆様には「ビニールケース」を同封させていただきました。

役員一同、心を込めて手作りしたものですので、どうぞお受け取りください。

山内さんはお願いとスラスタと文章をあやつり、いとぐるまの記事や俳句を詠んでくださいました。釣谷さんは体操のスベシヤリストで親睦会の手遊びやエクササイズの前はもちらんのこと、日常生活の体の不調に効くストレッチを教えてくださいました。私もお二人のように元気に年を重ねていきたいと思えます。十年間お疲れ様でした。そして今後も一同窓生としてご協力よろしくお願い致します。

最後に、お忙しい中ご寄稿下さいました皆様にご心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。(大田 記)